

婦人関係資料第二六号（一九五二年五月）

有能なホームメーカーとなるための工夫

——中央婦人同趣連絡調整会 阪阪部——

芳切省婦人少生局

この記録は一九五〇年十一月十四日開催した中央婦人
司理連絡調整会議の議決報告をす

恒例の会議は第三、即ち半開の事業として展開した「主婦
の地位をたかめる啓蒙活動」の一環として行つたもので
すが、この活動は期間を限らず長く続けることと必要で
す。また、主婦の地位をたかめるためには家庭の民主化
を図ると共に、主婦自身の教養をたかめ、肩車はゆき中
とならなければなりません。このための参考資料として
本書の内容が指導層の方を通じて、広く一般婦人の方々
に伝えられることを希望して出版いたしました。

会議出席者氏名

一 研究発表者

(一) 衣服についての工夫

農林省生活改善課長 山本 松代

(二) 食物についての工夫

ヤチ歌養短期大学学長 香川 敏

(三) 住居についての工夫

公衆衛生院建築衛生課長 柳田 幸子

(四) 家事の科学的な処理方法について

東京文化短期大学教授 沼田金四郎

(五) 生活向上から見た家庭活動

岩手県教育研究所長 鈴木 新次

二 討議参加者

主婦代表日本婦人同志会同連中央委員長 柳田 幸子

主婦代表民主婦人連合会員 斎藤 小枝子

主婦代表 岩手県生活改善課長 山本 松代

主婦代表 岩手県生活改善課長 山本 松代

(六) グループ活動による生活合意化についての事例

東京友の会 柳田 幸子

(七) 家事の協同化について

日本生活協同組合同連中央委員長 野村かつ子

(八) 家庭生活を楽しむための工夫

早稲田大学教授 今 和次郎

一 会議の趣旨について

山川局長 まだみなさんお集りになつておられますが、時間があるので、始めさせていただきます。日本の主婦の
負担が非常に重く、それが諸婦人達の生活を妨げておられます。この婦人の負担が軽減されることを望む
、婦人社会全体の進歩が妨げられておられるというところと、婦人の負担が軽減されることを望む
は認められておりますが、それは当然なことだ、やむを得ないという考えが一般に支配しておられます。またその
いふ問題については婦人自身の認識が非常に足りません。最近では女の方でも大分新しい意見や考えがあらわ
なされてきて、もう少し前までは低いに過ぎないものでも、婦人達の生活の向上に貢献するものが出てくる
る新しい意見が表れて、その方はむしろそれを導入しようとするのがよほど進歩的な方で、そんなことはとて
ないという方が多かったくらいであります。よく男の側から、たとえは低いけれども、新しいものが出てく
るものと、男の方には及第がある。食物にいたしても、奥さんの方がよりよいものを食べたいという意
が、いふことを聞くのであります。つまりそういう最も負担が重く、かつ、いふことも、男の方には及第がある。食物にいたしても、奥さんの方がよりよいものを食べたいという意
れをなんとかしようという意欲のないところにある。いまの問題がいろいろある。負担が重く、かつ、いふことも、男の方には及第がある。食物にいたしても、奥さんの方がよりよいものを食べたいという意
るんだ。男の方には及第がある。食物にいたしても、奥さんの方がよりよいものを食べたいという意
ること、それを取上げて実行して行く意思がなければなりません。それをするというふうには婦人の方々の生活
におきまして、また社会全般にわたって、取上げて行くか、実行して行くかというところが、私ども
の方に残されている問題でございます。今日お集りになりました先生方にも、また今後とも研究なさっていただく
む、私たちたいへんお集りいただきまして、全国の専業主婦を通じて宣傳したり、また本日はお集りになりました先生方にも、また今後とも研究なさっていただく
私どもも十分紹介いたしまして、全国の専業主婦を通じて宣傳したり、また本日はお集りになりました先生方にも、また今後とも研究なさっていただく
く御理解願ひまして、改めていただくたいへん希望がござります。少しでも婦人達の生活が改善し、婦
人の家庭における地位を向上する方向に、私どもの仕事を進めて行きたいと思ひまして、たいへんお集りいただき
御理解願ひました。よろしくお願ひいたします。

田中議長 ただいま局長から御挨拶申し上げましたこととは、本日お集りになった日本婦人同志会同連中央委員長と

いふものがどういふものかということを開解に新試論させたい位です。婦人小報局で婦人小報の発行に
果敢つて進み出てその保護と地位の向上とに一方の任務としておりますが、また地方へとくに村々にも婦人小報が通
いたしております婦人の地位の全般に亘つての向上といふことをは兼にいたしてあります。その婦人の地位の向
上のためには、各郷の婦人問題、婦人の生活の状況の調査をいたしまして、出て来ます問題を別つて、保護と
助をいたしておるわけでございます。さらに、家庭調査から得る資料とこの結果によりまして、事業は指導を
各方面にわたるための方法を講ずるのでございます。その際に婦人の問題に關連してありますことと各郷の各々、各
あるいは各郷の団体などに連絡調査いたすような仕事をしていきたいと思います。つまりそういう各方面の調査は、婦
人の問題の解決を連絡しなす。あるいはどういふ問題をいつていいたらいかがいかなうことについて連絡中上
仰。また個々の村内や団体の性質にたじて活動をしていただくように促進したり、団体間の協力を依頼したり
りする。こういうことが婦人問題に關する連絡調整の大事なことをいいます。これは中央ではなるべく一都府道府
県に婦人小報局の設置をというのがございまして、地が町村問題は地方の各代官や団体を通じて連絡調整する
中央では中央の行政機関、あるいは民間の団体などに、婦人の問題に關して連絡調整するといふ形をとつてあり
ます。それを今日の会議はその会議の一つたございまして、今年度に入りまして、四月に、いつも婦人問題といふ
太多な全国的啓蒙活動をするのを目指す。今年には婦人問題の中心村として中央では中央婦人問題会議をもち
農村問題と家庭生活問題とを研究しました。その会議の結果を参考として以後七八九の三月月には農村婦人問
題をとりあげ、農村婦人生活実態調査を実施します。一方、農村婦人の地位の向上のための啓蒙活動とい
はしました。その際また全国に、この連絡調整会議をもつて啓蒙活動を有効に行つたののでございます。ただい
ま三月四半期ですか、私もよく啓蒙活動の月報といはしておりますのは、一家庭の主婦の地位を高めることと
あります。そのためには中央及び地方でこういう連絡調整の会議を開いてあります。主婦の地位を高める啓蒙活動
は新聞と定規と手帳と長く続ける所々調査がおります。その他方へも普遍的な一つの香りを流しますために、今回は
よく啓蒙活動していかうつしやいまいか啓蒙活動に創出したいと思つて、その記録を文としていたすかといふ思つて
あります。私も、このあとでもつとなく関係の方、民間団体、あるいは一般の主婦の方々をあつめて連絡調
整の会議を開き、実質的に啓蒙活動を行うのに、今日の御意見を参考にさせていきたいと思います。ご

二、衣服についての工夫

石井　ただいま局長と議長から今日の会談の御旨を御説明申上げました。家庭生活の合理化という中には精神的な面と申しますが、家族関係の問題と、物質的な面と申します。家庭の能率化といふような問題との面があるわけでございます。私も婦人環境の中に中央婦人同業会談の家庭生活委員会と各方面の専門家の方々にその方面から家庭生活の近代化ということを取上げて討議していただいたのでございます。今日座の中のもの、物質的側面と申します。家庭の能率化を中心として、家庭生活の合理化ということについて具体的な問題とお話し合いいただきました。存じていゝわけでございます。おまゝに述上げました御案内状にございます通りで研究発表をしていただく存じます。なお先生方の御発表のあとで今度は一般の家庭とは別の家庭の生活改善が可能なかという家庭面について、またいろいろ討議をしていただくわけでございますが、その討議に主婦の代表という意味で、日本婦人有衣表同盟中央委員会をしていらつしやる熊岡さん、民主婦人連盟委員をいらつしやる桑久さんに御出席いただきました。それでは山本先生、牧服についていろいろ敬告すべき点を御指摘したいと思つて

山本　さう簡単！というお話でございしましたのを、教生層の中で大きな問題を三つ取上げて答へたのであります。大きな問題は最初にあります。生活層の設計ということではないかと思ひます。ここで皆様に着物を着る数何枚持つていらつしやるかと伺つても、夢か何枚というお返事が無いと思ひますが、うう先達つても弊門の人たちの中で、何枚で暮してゐるかを聞きましたが皆答へられませんでした。私が一番小さいという人が、私は数が無いからすくわるといひるので数えたのをすけれども、それがかね枚、あ、違つた、五枚、羽織が六枚、あ、違つた、違つた、七枚というように、毎かういふつて送り返つてゐる数を知りません。よりやぐ人に手紙でもらつて計算したら四十枚という数が出ました。本人は大層少いといふのであつたをいいますけれども、皆さんのお算

(20) この若える生類は今すぐといつてもできぬは他は此の方面に関心を持たずには居つて、皆感嘆をいひつてゐたにきない。大衆難解なお話でござりましたが、このくらいは、――

六 勞 働 医 学 上 か ら み た 家 事 労 働

石井 沼田先生から大変有難いお話を伺いました。又、口芳内屋場上から見た落着所状について、鈴木先生からお話をいただきたいと思います。唯今お落着の問候から食器のカロリーに計算すればというお話を伺いましたけれども、落着をばじめ種々の落着所状について、どのくらいのエネルギが消耗されるかというようは、まだやり方によって落着を最大限にくいとめることができるはずだということ、な所について是非に大にいたらと存じますが――。

附本 茲將概意に附うようは話ができますかどうが、あまりこまかいことについては今日附つて考へまへん
 でしたので、大まかに話になると思いますが、家事労働の合理化というようなことを考へますと、どうしても家
 事労働というものは、家事労働の範圍内だけの考へることができないものがあると思ひます。と申しますの同
 義語労働の内容はいろいろなりといふものは、生活様式といふものとはがつて、労働の合理化といふことは同時に
 生活様式が高くなつて行くといふことを併ねなければ合理化ができませんといふようば底があると知ります。それ
 は衣食住はちやうんのこととありますが、そのほかのことの生活環境一般といふものを含めて、生活様式全般と
 いふものゝ側と、家事労働の範圍といふことがつて来るといふように思ひます。ですからどうしてもこ
 れだけの考への中を持つて考へて行かないと、正しい方向に進展をもつて行くことができません。又、
 附つてまた家事労働を合理化する場合に、それを家事労働として合理化して行くそのうちの一部分のみは、
 持ちこれる社会的環境の形にまわしてゆくといふことによつて、能率めうんと上るし、質めうんと高くなる
 といふうなこともあり得ると思ひます。その辺の両面を考へながら全体としての動きを考へるといふことは
 行へるのでは無いのかと思ひます。

しかしまだちろんそう言ひまして、現在の数珠掛札というものゝ中に、その中だけの場合にすぎな量といふのは、ちろんたくさんあると想ひますが、数珠掛札というものを通ておきまして、それと一枚

に職業的労働者として行なれて居ります労働とくらべて見ますと、この戦争労働をする人が真正面からこれを見る水
業と勘えてやつてゐるおぼやかし、この點にかなり大きい差があるのを感じないかと想うのであります。然しその上
戦争作業といふものを自分の仕事だと考へて、真正面から戦線に向つてゐるかどうかといふこと、これは必ずしも
ちがふ戦争労働といふものの、性格からくるものでありましようけれどもどういふ向かひでそれら重層的な職業的労働者の
と非難に大きな差があるといふ點がいたします。即ち戦争労働の場合には責任を覚悟するといふか、合理化が進まずに
一つの大きは原因でいろいろ更にするのであります。たとへば例を上げて見ますと、普通の仕事では大抵少
なかり計画性といふものがあると思ひます。一日にどれだけの仕事をしなければならぬかとだけだが自分の仕事
であるかといふようになんかある程度あります。ところが戦争労働の場合にはそれを計画してやるというところは、ま
あ今こちらにおいて運動の組織の中にも大きく採取上げになつておりますけれども、実際の状態で一番でも何
ないといふ點がするのであります。一様に自分の取組として、主観がどれだけの仕事を自分ができることかといふ
つきり考えるところの確度がいかに乏しい。また一日にそれのみでは足りなくて行くかといふことを計画すること
が非常に少ない。これはもちろん戦争作業といふものがいろいろの事情で移動して行く性質をもつておりますし、
まだ敵軍の中の人、あるいは露降兵外の人からいろいろ妨げられて、計画通りに行かないといふ種性はあります。
けれども、それにしてもとにかく計画といふことが非常に少ない。これが十分で済むために、せめて仕事は準備に
要しないといふこと、無条件に來て来るために、新に修練して一種の仕事に戸惑はれてゐるといふ趣きが、家庭の
主婦には非常によく起つて来るのでないか、戦争の場合においても、肉体的負担物といふものは同じであります。さういふ點にもやはり
精神的意味の負担、これも相当大きな要素として考えられなければならぬ場面があります。さういふ點にもやはり
計画性が無い、あるいは計画が立ちにくいといふようなことが、非常に問題を生みつけてゐるのではないかと感じ
ます。こういうことが普通の職業的労働といふものと非難に距離が生じているといふ點がしほす。

[illegible]

それは、舞臺の演劇整理というようなことは、知性眼の杜之書とが、セリタ一の確かな「アト」作りヒラキ
てとも果敢に、幾人か組んで各案を廻つて歩くというようにしますと、一人でギョウ／＼やつてゐるよりも効
を合せてよく出来る。どれかう特に技術のある人は洋服の杜之書を、さつき申し渡したような場所向のはいん
に憑きりだして上げるようなこと——こういうようにして、人にして貰ふなり助け合つたりするにほゞうしてあ
ちやんと斜西を立て、行かされればはらばい。それから鹿島の買主のようなことも最善会でおやりですか、
急激でロイヤルツの落くはつたのとかわ下瀬類などを、何かに直したいと思つても一軒々ではなが／＼出来な
いからいつの國にか赤口山を来るということになります。この赤口山を兼ねて、杜幸の居しい人の手や東生面を
取つてそれを改題せしむるということをやつておきます。その作風は展覧會に出ておられますが、比喩の感
も少しづつでもほかには出来ないもの——制又は室内好きというより好むのはほしい／＼と思ふがなが／＼私共
經つてゐる暇はない。これに技術のある人、販賣りで手のある人か作るとだめすく出来ませう。ヤートルの
懸構が代へられたのできれいは室内好きが出来て今耳は派手だけれど、牧歌の曲の室内好きを改題せしむる
件は既述つて失念しました。その他は結構子とか権布持だまなか／＼さしにいと思つても彼がはいま替がさ
能うから、販賣りせ、おぼあさんなんやと暗のあるところではどうやらぬのをどろどろとして下さつて、立校
るだのを五十四位で、友愛せしむる人は買つ、備戴下のものがむだのでマットのようはぬのを取るといふよ
きはことおやりしております。こんばん台で、とにかく操方して衣類のことなども解決しておきますし、それの
お食部のことなどは今度の展覧會の場合のように本出に大活躍であつたらぬかと作られればよいように思ひ、同日の
前に買つたお料理は、お料理の好むほどに毎日、翌日の展覧會の東京支の会の日は、前日の人と個人ほどで場が成
熟のおれいでございます。朝日新聞を待つて待つてくれまして、暮りに近づくにつれて、暮りに近づくにつれて

入家事の協同化について

すので、やはりもう少しまで待つことが出来ます。最悪の場合の中にも特種会合を稼つてお参していただきます。あの展覧会の時も展覧会で助舟合つて加へ人を出して上げるといふようなことあつております。大分時間も過ぎますからその位にしておきますが、とにかく、なか／＼一歩では解決の出来ないことを本生は、彼力によつて解決して行く。これは私共のほうの例でございますが、それ／＼のところであらうな部分でいろいろのことが本當に解決できていつにらぬものではないかと感づております。

石井　どうもあり賀とございます。今お辭がございまして、友の表では会費の方達の面でも協力して、困難は向う解決して行つていらつしやるわけでございますが、どういふことが實際に行われていないところではあつとどういふ氣がついて大いに汚れる必要があると思ひます。

境程將木先生のお話の中でも、戦争開始を社会的なほうに廻さなければいけないのじやないかというお話がありました。そこの点で野村さんから、戦争の疎同化と申しますか、ブルジョア階級をふくむひろげた意味のものについてアスリチで見聞なさつたこともおありだと感じますので、短い時間では無理と願いますけれども、うそお願ひいたします。

野村　「テゝマより心してレがあると思ひますが、私生活期間組合のほうの役仕事をしておりまして、日頃一世の中の下積みと申しまして、いふゆゑおかげさんという入腹を相手にして仕事をしております。私、日本の民主化とか、文化圏の発展とかいうことも少数のおえらい御主人の出で行くというのではないに、いふゆるおかげさんというようばん登がどんなに民主化されて行くかということに一番大きな商腹がかゝつてゐるのではないかと感じまして、いつゆゑういうところに仕事の方を置きまして考えをしております。非難に行動が狭くて、農村のほうにゆき方にも出向かず、自分の小さは世戚に住んで隣町組合関係の御主人を相手に仕事をしておりますので、いさゝ／＼粗雑な氣、向腹つた席ゆきひんあると感じますから。今日こちらに出願します途中、神保町の賣ぐ裏におりまして、知合の家に一寸遊びましたが、私は若田神保町の東京の天心中に居て、こういう住居をしてゐる人がゐるといふことを初めて知つて、突然としたのであります。旦那さん、就寢の映画機のカメラを借りて、

[illegible]

「熊鷹」といふ名は有様者同盟の代表とが思ひ下さいませんで、町の松がさんのお城と思つておさき願ひたい。御難の通り和歌を著せたりましてへまかり、不便のことを親切に申してありますし何ども、私共の解雇には目もすそと拜服致新願しますのは、各版の新報になるとオーパーから金都斯元にお大使へと申し送す、又并販たとははにかのを毎着して折や下りと買つても拜替といふことがさかはいが、和歌でさういふこと、私は焼けぬの村みにいれとごころに住んでわりますので着物の数は持つてはいけら、今日はこういう所に行くから黒紋付を着して下さいと拜替出来ますので、その奥は便利で、近者前にも廻りが多いとも願ひはいい、昔の着物そのまゝ、焼けてうに方はどから拜替してあります。

もう一つ船物への應じましにことですが、上級學校を卒業はする方が、學力を備へないとか物を繕ひないとかをう。多ざら船物や物を着はくてもいい、ように地主の方が御慰勞して頂きにい。皆長袖で掛ければ卒業式に行けたいというのでお母さん方が困つていらつしやる。

それから先程櫻井のお話伺ひまして、とても私共の財政状態では及びもつきませんけれども、団体で月収確定にして置くというよりは、出費まはさんでしようか。

右欄、虎額縁は家裏の裝飾品であるが、可故こゝは高いかと検討したゆゑ、税金が非難に當り。ついでこの欄を
るは税金は大割、その額は十割かゝつた。又すから税金を撤廃すれば今の光復額より少くする。少くすれば益を
する。それから今おつしやつたようは、同種敷地のこととあります。さうきのお世のように共同でやるの式一箇
よつし。

一番深いので、管原で焼つてゐるのは一カ八千円、その中税金が五千円位でしよう。その一十上には焼くして、南史のソテ、これは三万円位、それ外は日産で焼つてゐるのは四万円です。それから今わいぐのどてろに焼くので焼てゐるのはすうと安く、五、六千円位で出来そうだと、これが出来れば家賃を安く済ませると思ひます。

新田、植穀によつて生命がかりなまじようの

吾國、大抵キリスト教の所達を、世間のほうは大福小算で計算しやあゝ、亦人数はらはお強いのて面に合いますね。

227

香烟 充分間に合います。むしろ大き過ぎて、病人では厄介ではせうかと思ひます。東芝のソラはとほ大さく

熊岡、それは喧嘩屋か？

君問、そうです。歌舞曲のものはほとんど電燈で、電カも百ワットの電燈の程度です。それより今私のところに持つて来たのは四十ワットの電燈で、それより先がすれは素に、使ひ難い。四、五千円はうろくでほしいと思つています。

だゝ今野村さんの問題一々御覧の如く確意ある、われ／＼根堅固は計畫をしてゐるのさではないかと察してゐる。われ／＼も一歩手前にあるという心細い状態ですが、そこで、どこを目標にするかということが大問題は問題です。私、今案本のほうの生活用語の調査をしていますが、腹直は文化的は生活を目標にしては行けはらんとするので、聖賢やカスの問題も被服の問題も、ある面から聞けば贅沢過ぎるということになるけれども——その案はんか、も一歩どこが目標かということが非常に困難です。

田中、花菱義のよつは費用のかゝるものゝ補給が必要とすけれど、今の政務では野村さんはんかのお話であつたによつは、俵河活動で相当カバ―出来る面がある。先週で、協力活動で充て足れる面もある。一番実行し易い義勇隊があるんじやないかと思ふんで、全部の主導が安田曰何時間か使つて先週するのさばく、別段け合つてするといふことで、狂着節は面をカバ―するといふ試も同時に考えにない、と思ひます。

召廻。燃料問題などは、戦争中は、これにとつても重むん、御飯泣は其同收者をさすようぢやないかという事が出来しにか――。

市中、戦争中は校庭運動が割合に行われておりましたね。

山本 けれども校庭活動を効果的にしようと思つたら、人間の力に代るものをを入れなければ意味を以て増す。二、三十分のものはらたえるけれども、一人で一時間も二時間も出来はいい。又園歌集の失敗もつまりそれです。一人の人が大人から少くも一人の人が二、三人分に代る能力が確保されなければならぬ、どうしても失調する上

[illegible]

田中、この前、ある団体の集りに席にいらした。先遣は主婦が来し、毎日風呂の中にもその遺影を入れた。使務というものの話等に言われぬ気分だをいふことで、夫面在葉を折席お願ふしにのびる決してしつた。いふことと、そういふ無敵の面の話言ひまにすい。我々ある。にわの何時に無敵の面のを懐と神うで打がはけ。無敵の面、野村、後同此とあいうしうはこと。わつは月柱金んということね。それには若葉並行やはくちや、ちいぢい。大敗するをしようね。

吾輩、共同欺詐は、ある風で、政府が通商に妨はれたいといふのを行つて現ると、海軍と入格の白人が、
處であるから仕ひ、三、四の五人家演説す相、てす、それ共同欺詐と言つて廿五年大、三、四の五人家演説す相、それ以上はると家海軍の海軍は合はれ、

義賊 共同放事の組合、よく考えるのですか。暗番の奥はかりで決して、細かくエライにめに暗番の悪い人はおはあをてわすというごとがあると思ひます。にど能死怖技んかは共商を器、大考クルリををばつてやるのはすいぶんね、と怒います。私、子族を言くて時は空敷のみはし時ですかり相口しませにね。あの譜の昔は吹つててとは免れられはいのぞ、託児所だけは何とみして、こちらめになりておれしで奥にでん紙にやと願ひます。

綱朝、反の会はお、賢富で母親が成り合つて一箇向の申何回かお話しして子族さんの昔話をするといいよと表やつていきます。

兼取、手帳というものは夢野とおいておけばそう手帳おとれはし。
 山林 わにもし、よく考へる外、飽腹斯くはくで「純理園」というものが出来れば――
 桐野、その目は区んどろに主筆が手帳から解放されて、外出出来るも、産のは伊織と生骸命風来るといふ
 うはでとでははい、ですお。

無厭、手紙の輪のマイナスイメージの味太さ。宛てられる人がおると邪魔なものはある。か
君川 敗同化ということですね、おつぱり知識程度とか執筆とか、いろいろさう
と聞きます、ある上には、同じ生活様式の処で、同じ一冊にかたまっているし、てういう紙媒体ではあ

This image shows a vertical, high-contrast, black and white scan of a textured surface, likely the cover or endpaper of an old book. The texture is grainy and uneven. Along the right edge, there are several small, dark, irregular shapes that appear to be holes or damage to the material. The overall appearance is aged and worn.

一箱を、てうぢやでるうんと風うがし、そいう村番とよの人ばかり集めるのはす村々との、芝原ぞういってなをし

ようと思つと船々の版工さんの家ではそれを反對する。そういうことをおぼしておかすはけはわがみさゝの用がたふはるから困る。ひままでひまで仕方はい人は含養化して「わねく」自分が乾し肉の足にから合養化してほう太

山本 洗濯日、楽しいばかりではなくて、はめて洗濯日もしなければ仕舞はは、という人がある。
野田、それは田中さんか私か住んでいるアパートですが、私が、うまく行けば白布論に協力して、風呂を立て

[illegible]

山本 江戸川もそうぞす。
野田 江戸川が始めて、見に行つたのぞす。白百合が、喜樂にも始めて下さいといふのでやうと思つたがと
うく出来はかつた。

田中、そうしていろいろの設備が便利に出来てお住みですが、時間はあるが、いわゆる船旅の時間があるという田中、それからもう一つ時間のことですが、北海道に行っているくらいなので、まず的は興さんがある。結局生活を合理的にするという目標が足りない。

く考え出して、その時向を本を読んだりするとお姉さんが横帳が買ひ・不合理的な（田中研かやつて呉れは、
 ちの歌はゆくと云う・マジョの前に座つていてはいけないうし、そういうことは田舎ではすいぶんあるわし、

田中、家興の民主化ということが根本的は問題にはつて来るんですね、私達のほうで、主權が家族としてゐるが、
 政治經濟的に評價しなうどの位につくかということとを考へて置いた、そういうことは一義には全然あえられは
 しません。

山本、私、前に計算したが、終戦前です。百円から百二十円の収入の人の七十八円から八十五円位にはつた。時局勢勢にしてお、商物とか、ワイシャツ等と考へたらその位はつた。

